

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
ミュージックアーティスト科											
作詞・作曲 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	平泉光司			実務 経験	有	職種	ミュージシャン				
授業概要											
オリジナル作品制作とリンクしている。音楽を作るにあたりデジタル的側面とアナログ的側面の要素におけるアナログ領域を本授業では講義する。 講師指導のもと、学生同士で班を作り、共同制作を行いながら楽曲制作のコンセプトやメロディ・歌詞などのアナログ素材を授業内で作成する。											
到達目標											
共同作品は、コーライティング技術が必要で、この技術は音楽能力に加えてコミュニケーション能力も必要になり、学生同士が協力しながら制作への理解を深め能力を高めることを目標とする。											
授業方法											
作詞作曲ともに、ヒット曲等に用いられているテクニックを紹介し、それらを実用しながらオリジナルの楽曲を制作して行きます。											
成績評価方法											
試験30%（試験と課題を総合的に評価する）。成果発表50%（授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する）。平常点20%（積極的な授業参加度、授業態度によって評価する）。											
履修上の注意											
授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は評価しない。											
教科書教材											
配布プリント											
回数	授業計画										
第1回	詞先・曲先についてそれぞれのメリット・デメリットを学ぶ。										
第2回	I -IVのコード進行想定でメロディのモチーフの生み出し方を学ぶ。										
第3回	I -IVのコード進行想定でのメロディのモチーフの発展のさせ方を学ぶ。										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
ミュージックアーティスト科	
作詞・作曲 3	
第4回	テーマを設けてそのテーマから連想されるワードをあげ次回の作詞の準備をすることが出来る。
第5回	前回のワードを使いワンコーラスの尺を意識した作詞をする。
第6回	4小節（Ⅰ-Ⅰ7-Ⅳ-Ⅳm）のコードにメロディーを作ることが出来る。（最低3パターンを作る）
第7回	前回の制作したメロディーに作詞をすることが出来る。
第8回	班を作り、作詞と作曲を分担する作業を行う。その班を、オリジナル作品制作に引き継ぐ。
第9回	班を作り、作詞と作曲を分担する作業を行う。その班を、オリジナル作品制作に引き継ぐ。
第10回	サビを想定した4小節（Ⅳ-V-Ⅲm-VIm）のコードにメロディーを作ることが出来る。（最低3パターンを作る）
第11回	前回の制作したメロディーに作詞をすることが出来る。
第12回	班を作り、作詞と作曲を分担する作業を行う。その班を、オリジナル作品制作に引き継ぐ。
第13回	班を作り、作詞と作曲を分担する作業を行う。その班を、オリジナル作品制作に引き継ぐ。
第14回	テスト対策。
第15回	前期まとめ。